



会場自体すでに聖地。都内で唯一の木造寄席で、他では味わえない雰囲気にはまっている。

アーティスト日比野さんの聖地は学生時代に影響を受けた、スタジオや美術館、予備校など。芝居小屋など小さなスポットも多く、ネットワークさせるべきとも。ヴィヴィアンさんは、暗渠になっている川筋などを挙げた。

シンポジウム「新宿サンクチュアリ2020」

## 新宿でああなたの好きな場所はどこですか？

モデレーター＝榎本了吉、ヴィヴィアン佐藤 パネリスト＝野老朝雄、中島信也、日比野克彦  
2017年10月27日(金) 会場＝新宿末広亭 主催＝新宿フィールドミュージアム協議会(新宿区、芸団協、他)

意外に気づかれていないが、新国立競技場は新宿区にある。そこで新宿の個性的で魅力ある場所＝サンクチュアリ(聖地)を選んで発信し、街の文化を盛り立てていこうとする「新宿サンク

チュアリ」プロジェクトが企画された。今回はその始動シンポジウム。リスペクトしている聖地を挙げて語り合った。

オリンピックロゴをデザインした野老さんは落

合出身。落合は染め物の産地で、工房のある裏路地が時のつくる風景として挙げられた。CMディレクターの中島さんにとっては、初めてアングラ演劇に出会った街。テント芝居では、舞台と一体化する街の印象が強く残っている。「場所によって違う人種が分布していて、それぞれの文化がある」という中島さんの言葉に、榎本さんは「新宿人図鑑」をつくろうとしていたところだと返した。

「文化は街がちょっと崩れたところに発生する。たとえばソーホーなどがそう。あるいは渋谷のよう

に企業間の競争がまた文化を生んだ。しかし新宿は経済力が強く、大きなぶつかり合いがなくうまい共和制ができている。それが意味不幸で、どう面白くしていくかは大きな課題です」と榎本さん。そこで後半は、新宿から新競技場への遊歩道を設定しようという具体的なプロモーション案が登場。クリエイター達のプレストの様相も帯びた。ここで膨らんだ発想が、街を面白くする日も近そうだ。

[新宿フィールドミュージアム [www.sfm-shinjuku.jp](http://www.sfm-shinjuku.jp)]